

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

(対象期間：2023年9月～2024年8月)

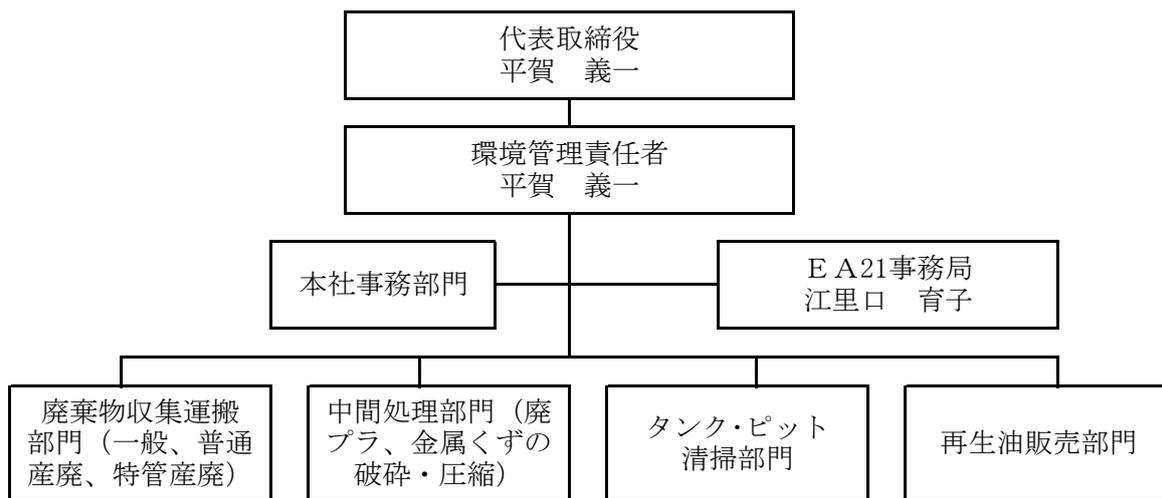


2024年10月20日 発行

株式会社 平賀興業所

1. 組織の概要

- (1) 事業所及び代表者名
 会社名：株式会社 平賀興業所
 代表者名：代表取締役 平賀 義一
- (2) 所在地
 本社工場：〒230-0033 神奈川県横浜市鶴見区朝日町1-17-3
 出張所：〒230-0035 神奈川県横浜市鶴見区安善町2-4
 シェルルブリカンツジャパン(株)横浜事業所内
- (3) 法人設立年月日
 昭和58年2月18日
- (4) 資本金
 1,000万円
- (5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 環境管理責任者：平賀 義一
 担当者連絡先：神奈川県横浜市鶴見区朝日町1-17-3
 (電話)045-503-5305 (FAX)045-511-5305
- (6) 組織図 (平成29年3月1日現在)



(7) 役割・責任

担当	役割・責任・権限
社長	・環境経営方針の決定 ・経営における課題とチャンス の明確化・マネジメントレビューの実施 ・環境管理責任者の任命 ・必要な経営資源の投入
EA21事務局	・EA21の活動状況まとめ ・教育・訓練、緊急事態対応テストの連絡等
環境管理責任者	・環境経営システムの確立・実施・維持 ・社長見直し時にEA21活動状況報告
各部門	・環境経営計画の実施 ・月別部門データの集計 ・問題点の把握と是正の実施

(8) 事業の内容

- ・産業廃棄物処分業 (中間処理) ※
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・一般廃棄物収集運搬業 (横浜市)
- ・タンク・ピット等清掃業
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ・再生油販売業

※ 産業廃棄物処分業 (中間処理) は2016年8月より開始しています。

(9) 事業の規模

項 目		2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)		488.7	380.6	524.4
従業員(人)		13	15	17
本社工場	敷地面積(m ²)	316.6	316.6	316.6
	床面積(m ²)	143.8	143.8	143.8
出張所(貸事務所)床面積(m ²)		50.0	50.0	50.0
タンク・ピット清掃件数(件)		8	13	13
再生油販売量(kℓ)		5,835	4,556	4,174

※1 本社工場の床面積は中間処理場を含んでいます。

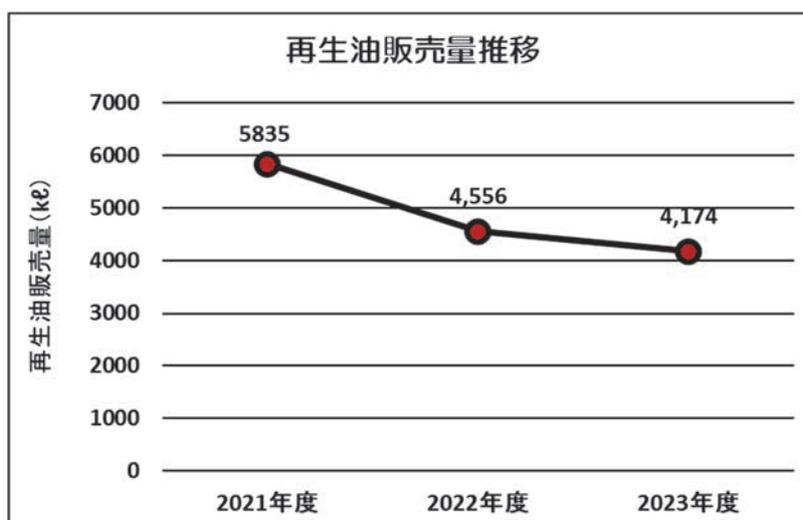
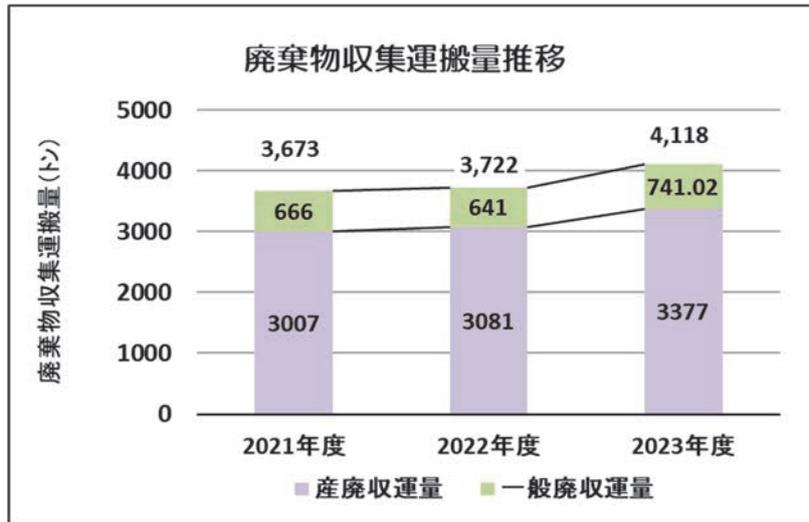
(10) 環境への負荷の状況

環境への負荷		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	170,999	177,640	191,735	
②受託した廃棄物の処理量(産廃+一般廃)	産業廃棄物収集運搬量	t	3,007	3,081	3,377	
	産業廃棄物中間処理量	t	76.3	69.4	161.8	
	一般廃棄物収集運搬量	t	666	641	741	
③自社廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.2	0.1	0.1	
	産業廃棄物	t	31.9	18.2	43.3	
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	248	255	266	
④-2 水使用量	上水	m ³	248	255	266	
⑤化学物質使用量	なし	kg	0	0	0	
⑥エネルギー使用量	購入電力(出光興産)	kWh	14,999	16,550	16,675	
	化石燃料	軽油	ℓ	60,258	62,794	66,472
		ガソリン	ℓ	3,618	3,342	5,301
⑦物質使用量	資源使用量(用紙)	kg	90.0	90.0	90.0	
	循環資源使用量	t	0	0	0	
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	0	0	0	
	水の利用量	m ³	0	0	0	

注1) 使用電力によるCO₂の排出係数は、2018年12月に環境省が公表した「電気事業者別排出係数」から出光興産(株)の調整後排出係数『0.476kg-CO₂/kWh』を使用しています。

注2) PRTR制度対象物質としての化学物質の使用はありません。

【各種データの推移グラフ抜粋】



※12 水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。 ※26 (※10)+(※14)+(※21)
 ※13 (※2)+(※12)。 ※14 水銀使用製品産業廃棄物を除く。 ※15 水銀含有ばいじん等を除く。
 ※16 (※3)+(※9)。 ※17 (※3)+(※11)。 ※18 (※10)+(14)。 ※19 (※14)+(※15)。
 ※20 (※2)+(※14)+(※15) ※21 石綿含有産業廃棄物を除く、※22 自動車等破砕物を含む。

②産業廃棄物処分業

産業廃棄物処分業(中間処理)			許可品目		
22	横浜市	※1 05620003956	2021年8月1日 2028年7月31日	破砕:廃プラスチック類、木くず、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず 圧縮:廃プラスチック類、金属くず	※いずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く

※1 産業廃棄物処分業許可は優良産廃処理業者認定を取得済みです。

③特別管理産業廃棄物収集運搬業 …更新手続き中

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可品目(●又は◎印)																			
No.	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	感 染 性 産 業 廃 棄 物	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 石 綿 等	廃 P C B 等	廃 P C B 汚 染 物 等	廃 P C B 処 理 物	特定有害産業廃棄物 (金属等を含む廃棄物)											
												汚 泥	燃 え 殻	ば い じ ん	廃 油	鉍 さ い	廃 酸	廃 アル カリ					
23	神奈川県	※15 01453003956	2022年12月6日 2029年9月3日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
24	東京都	※15 1357003956	2023年5月6日 2030年5月5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
25	千葉県	※15 01250003956	2023年6月21日 2030年5月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
26	埼玉県	※15 01150003956	2023年4月13日 2030年3月15日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
27	福島県	※15 00757003956	2024年5月24日 2031年4月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
28	長野県	※15 2059003956	2023年6月23日 2030年6月22日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
29	大阪府	※15 02750003956	2018年4月14日 2025年4月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30	茨城県	※15 00851003956	2021年6月3日 2027年12月24日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
31	広島県	※15 03450003956	2021年1月15日 2028年1月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
32	横浜市	※15 05660003956	2021年1月1日 2027年12月31日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
33	山形県	※15 0659003956	2022年3月8日 2029年2月9日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
34	新潟県	01559003956	2024年5月14日 2031年4月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
35	秋田県	00556003956	2024年6月4日 2031年5月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	福岡県	04050003956	2019年11月26日 2024年11月25日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
37	宮城県	00450003956	2020年4月14日 2025年4月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
38	岡山県	03350003956	2020年4月13日 2025年4月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
39	神戸市	06950003956	2020年7月30日 2025年7月29日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40	群馬県	01050003956	2021年1月8日 2026年1月7日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
41	山梨県	01950003956	2021年2月18日 2026年2月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

注) ●は積替え・保管を除く ◎は積替え・保管を含む

※1 揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。 ※2 水素イオン濃度指数2.0以下のものに限る。

- ※3 水素イオン濃度指数12.5以上のものに限る。 ※4 廃石綿等、金属等を含む特定有害産業廃棄物。
- ※5 鉱さい、ばいじん、燃え殻、廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリに限る。
- ※6 特定有害産業廃棄物
- ※7 ※1+又はトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを含むことのみにより有害なものに限る。
- ※8 ※1+並びにトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、及びベンゼンを含むことにより有害なものに限る。
- ※9 ※2+並びにカドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことにより有害なものに限る。
- ※10 ※3+並びにカドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことにより有害なものに限る。
- ※11 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。
- ※12 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。
- ※13 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物及びセレン又はその化合物を含むことにより有害なものに限る。
- ※14 各都道府県、政令都市の特定有害産業廃棄物に係る含有化学物質の詳細については、それぞれの許可証の別表をご参照ください。
- ※15 神奈川県、横浜市、東京都、千葉県、埼玉県、福島県、長野県、大阪府、茨城県、広島県の特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証については優良産廃処理業者認定を取得済みです。
- ※16 ※1+又は※19 ※17 ※2+又は※19 ※18 ※3+又は※19
- ※19 許可証の別記1に記載の有害物質を含むことのみにより有害なものに限る。
- ※20 ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。
- ※21 鉛又はその化合物、六価クロム化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。
- ※22 鉛又はその化合物、六価クロム化合物を含むものに限る。
- ※23 低濃度PCB廃棄物に該当するものに限る。
- ※24 低濃度PCB汚染廃油に限る。
- ※25 低濃度PCB処理物に限る。
- ※26 低濃度PCB汚染物に限る。

(12) 産業廃棄物施設の状況

①車両

車両形式	最大積重量(kg)	積載可能寸法	保有台数
		全長×幅×高さ (cm)	(台)
脱着装置付コンテナ車	10,900	906×249×311	1
脱着装置付コンテナ車	3,900	586×219×240	1
脱着装置付コンテナ車	3,550	586×219×268	2
塵芥車	2,000	524×184×226	1
塵芥車	2,550	647×210×231	1
塵芥車	2,500	648×209×230	1
キャブオーバ	3,950	696×234×272	1
バン	13,900	1,199×249×376	1
合計			9

② 産業廃棄物及び特別管理廃棄物の積み替え保管施設

《積み替え保管を行う場合の所在地、面積、産業廃棄物の種類、及び保管上限》

施設住所	神奈川県横浜市鶴見区朝日町一丁目17番3	
設置年月日	令和3年8月1日	
面積・保管上限	産業廃棄物	保管面積：42.228 平方メートル 保管上限：46.5 立方メートル
	特別管理産業廃棄物	保管面積：0.019 平方メートル 保管上限：0.004 立方メートル
保管できる産業廃棄物の種類	産業廃棄物	汚泥、廃油、廃プラスチック類(石綿含有物を含む)、金属くず、木くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石綿含有物を含む)、がれき類(石綿含有物を含む)
	特別管理産業廃棄物	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)

(13) 産業廃棄物収集運搬業の具体的な計画

①産業廃棄物収集運搬計画（2024年度）

汚泥；1,200トン 廃油；1,200トン 廃プラスチック類；100トン 木くず；150トン
 金属くず；100トン 鋳さい；50トン がれき類；100トン 木くず；100（合計3,000トン）

(14) 環境保全措置

- ・分別収集運搬を心掛け、作業を迅速に行うとともに搬送時は必ずシート掛けをして飛散防止対策を行う。
- ・ドラム缶などは必要に応じてロープなどで固定して搬送する。
- ・車両や容器などは清潔な状態であるように努める。
- ・収集運搬の緊急時に備えて、従業員に教育活動を行う。
- ・エコアクション21認証を維持する。

(15) 産業廃棄物の受入・運搬量・中間処理量（2022年度：2022年9月～2023年8月）

① 産業廃棄物の受入・運搬量

単位(t)

種類	2021年度	2022年度	2023年度
汚泥	1392.5	1265.8	1240.6
廃油	1119.4	1179.7	1298.6
廃アルカリ	0.0	107.2	146.5
廃プラスチック類	103.1	118.3	159.5
木くず	70.0	71.5	118.5
繊維くず	0.0	0.0	2.7
金属くず	81.7	115.7	126.5
ガラ陶くず	10.8	11.1	20.1
鋳さい	58.8	54.6	37.1
がれき類	52.2	54.8	16.3
廃油 ^{※1}	61.0	58.0	150.2
廃石綿 ^{※1}	40.3	17.6	39.9
強酸 ^{※1}	17.1	21.8	15.8
感染性廃棄物 ^{※1}	0.2	1.1	0.1
PCB汚染物 ^{※1}	—	3.9	2.9
汚泥（有害物）	—	0.4	0.0
合計	3007.1	3081.5	3375.3

注1) 受入量と運搬量は同数です。
 注2) ※1は「特別管理産業廃棄物」の扱いです。

② 中間処理量（再資源化）

種類	2021年度	2022年度	2023年度
廃プラスチック	20.0	38.4	107.2
金属くず	24.5	21.4	43.6
合計	44.5	59.8	150.7

(16) 一般廃棄物許可の内容

一般廃棄物収集運搬業			
No.	市町村	許可番号	許可年月日 及び有効期限
1	横浜市	資一指令第101号 許可番号第1112号	2024年4月1日 2026年3月31日

(17) 一般廃棄物用収集車両

車両形式	最大積載量 (kg)	積載可能寸法	保有台数
		全長×幅×高さ (cm)	(台)
脱着装置付コンテナ車	3,900	586×219×240	1
塵芥車	2,550	647×210×231	1
塵芥車	2,500	648×209×230	1
合計			3

(18) 一般廃棄物収集運搬量実績 (2022年9月～2023年8月)

種 類	単位	2021年度	2022年度	2023年度
受託一般廃棄物	t	666	641	741

(19) 産業廃棄物処分 (中間処理) 施設概要

所在地：神奈川県横浜市鶴見区朝日町一丁目17番3

1. 施設の種類：破砕施設 1基

設置年月日：平成28年7月21日

破砕施設：廃プラスチック類 3.8t/日 (8時間) 木くず4.2t/日 (8時間)

ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず 4.9t/日 (8時間)

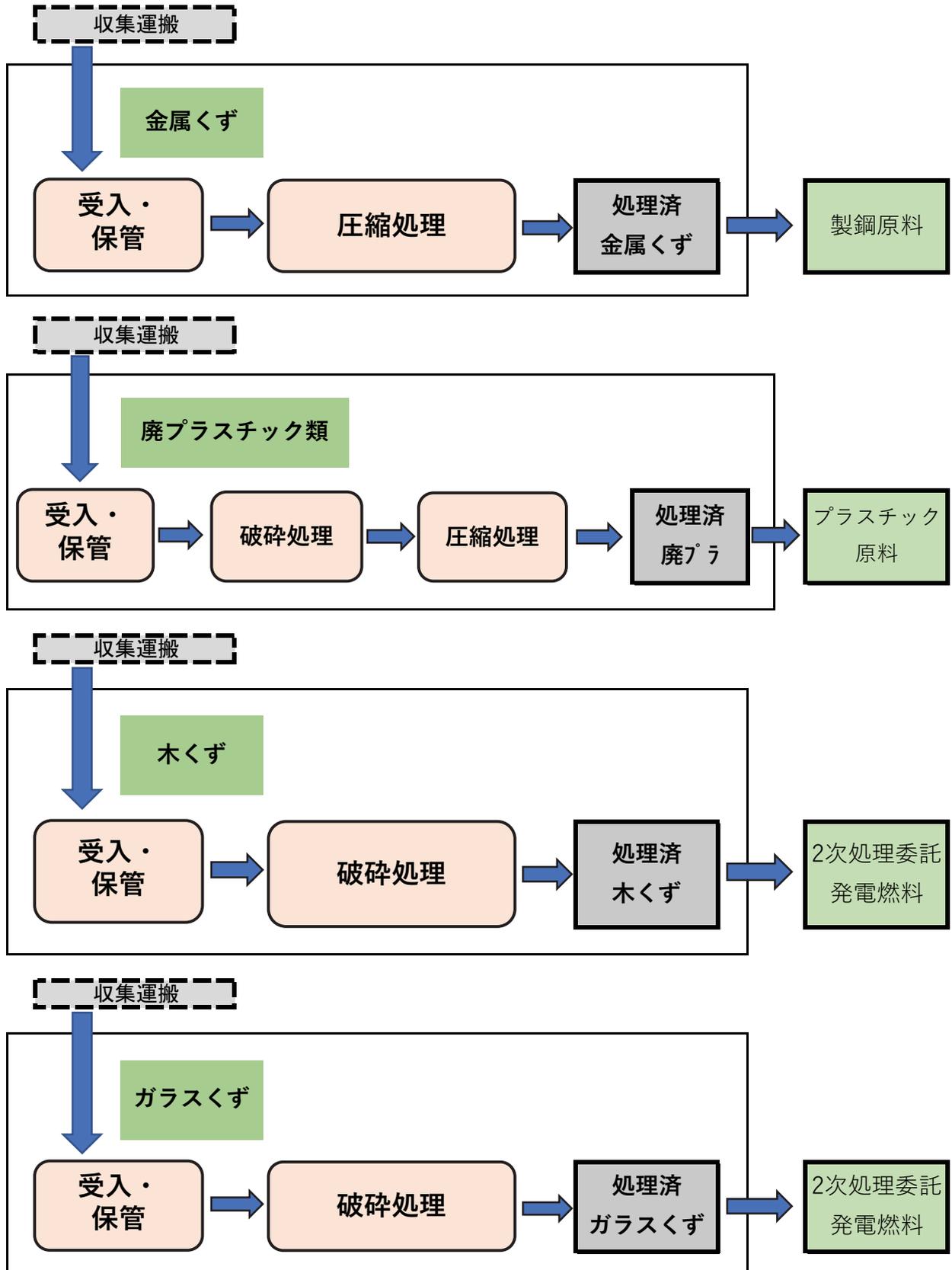
2. 施設の種類：圧縮施設 1基

設置年月日：平成28年7月21日

圧縮施設：廃プラスチック類 7.2t/日 (8時間) 金属くず 29.6t/日 (8時間)

3. 保管量：中間処理に伴う産業廃棄物の保管量は、巻末、産業廃棄物処分業事業の施設一覧参照

(20) 産業廃棄物処分（中間処理）の処理工程図



(注) 上記 (19) (20) に記述の案件は平成28年8月に事業展開を開始している産業廃棄物処分業（中間処理）における内容です。
※中間処理場の詳細につきましては、巻末の施設一覧をご参照ください。

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所： 本社工場、出張所

対象事業活動：産業廃棄物処分業（中間処理）※¹産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業

一般廃棄物収集運搬業、タンク・ピット等清掃業、再生油販売業

エコアクション21認証登録番号： 0010603

エコアクション21認証登録日： 2015年5月19日

※¹ 産業廃棄物処分業（中間処理）については2016年8月から事業展開を開始しています。

3. 環境経営方針

株式会社 平賀興業所

環境経営方針

《基本理念》

株式会社平賀興業所は、廃棄物の収集運搬業を主たる業務とし、産業廃棄物の中間処理や各種の清掃作業なども請負う企業として、顧客に対し安心して任せられる企業を目指し、廃棄物の適正処理に取り組みます。またさらに地球温暖化や資源保護の問題を人類共通の重要課題と認識し、環境保全活動に取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

《行動指針》

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 収集運搬車両及び機械設備や重機類の使用による燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 受託廃棄物の収集運搬量の拡大をはかり、適正処理事業を推進します。
 - ③ 分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。
 - ④ 節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。
- これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境方針及び環境活動を全従業員へ周知し、環境活動を推進します。

2014年10月1日制定

2019年9月1日改訂

株式会社 平賀興業所

代表取締役 **平賀義一**

4. 環境経営目標

2022年度（2022年9月～2023年8月）の実績を基準値とし、3ヶ年分の中期計画の環境経営目標を設定しました。

2023～2025年度 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	※1基準値 (2022年度)	2023年度目標 (2023年9月～ 2024年8月)	2024年度目標 (2024年9月～ 2025年8月)	2025年度目標 (2025年9月～ 2026年8月)
1	電気使用量の削減	2022年度実績 1,766 kWh/月 (21,192kWh/年)	1%削減 1,758 kWh/月 (21,096kWh/年)	2%削減 1,741 kWh/月 (20,892kWh/年)	3%削減 1,723 kWh/月 (20,676kWh/年)
2	軽油使用量の削減 (燃費の向上)	2022年度実績 3.54km/L	1%向上 3.58km/L	2%向上 3.61km/L	3%向上 3.65km/L
*	二酸化炭素排出量の削減	2022年度実 19,243kg-CO ₂ /月 (230,916kgCO ₂ /年)	1%削減 19,051kg-CO ₂ /月 (228,612kgCO ₂ /年)	2%削減 18,858kg-CO ₂ /月 (226,296kgCO ₂ /年)	3%削減 18,666kg-CO ₂ /月 (223,992kgCO ₂ /年)
3	廃棄物収集運搬量の拡大 ※2	2022年度目標 250 t/月 (3,000t/年)	1%拡大 253 t/月 (3,036t/年)	2%拡大 255 t/月 (3,060t/年)	3%拡大 258 t/月 (3,096t/年)
4	水使用量の削減	2022年度目標 49.4 m ³ /2ヶ月 (296.4m ³ /6ヶ月)	1%削減 48.9 m ³ /2ヶ月 (296.4m ³ /6ヶ月)	2%削減 48.4 m ³ /2ヶ月 (290.4m ³ /6ヶ月)	3%削減 47.9 m ³ /2ヶ月 (287.4m ³ /6ヶ月)
5	自社からの廃棄物 排出量削減(一廃・産廃)	—	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持 (分別基準の順守)
6	出張所の環境活動	—	活動実績 (活動の有無)	活動実績 (活動の有無)	活動実績 (活動の有無)

※1基準値は2022年度平均実績値にばらつきを考慮して1.5s(標準偏差)分を加減した数値を基準値とした。

※2 廃棄物収集運搬量は「産業廃棄物」と「特別管理産業廃棄物」及び「一般廃棄物」の収集運搬量を合計した。

5. 環境活動計画（主な施策）

- | | | |
|--------------------------------|------------------|------------|
| ① 二酸化炭素排出量の削減 | ④ 受託廃棄物の収集運搬量拡大 | ⑦ 出張所の環境活動 |
| ・ 下記②及び③のテーマ活動の推進 | ・ 新規顧客の開拓 | ・ 廃棄物の分別徹底 |
| ② 電気使用量の削減 | ・ 排出元に対する啓蒙活動の推進 | ・ 節電 |
| ・ 省エネ教育の実施 | ⑤ 水の使用量の削減 | ・ 節水表示 |
| ・ 省エネパトロールの実施 | ・ 節水意識向上教育の実施 | |
| ③ 軽油使用量の削減 | ・ 適正使用 | |
| ・ アイドリング・ストップ ^o の励行 | ・ 節水表示 | |
| ・ エコドライブ教育 | ⑥ 自社からの廃棄物排出量削減 | |
| ・ 車両整備の徹底 | ・ 裏紙の再利用 | |
| ・ 搬入口、施設内の整理整頓 | ・ 失敗コピーの削減 | |

6. 環境経営目標の実績

No.	環境経営目標項目	基準値	2023年度目標 (2023年9月～ 2024年8月)	結果 (目標比)	評価
1	電気使用量の削減	2022年度実績 1,766 kWh/月 (21,192kWh/年)	1%削減 1,758 kWh/月 (21,096kWh/年)	21.0%削減 1,390 kWh/月 (16,675kWh/年)	○
2	軽油使用量の削減 (燃費の向上)	3.70m/L	1%向上 3.58km/L	7.8%向上 3.86km/L	○
*	二酸化炭素排出量の削減	2022年度実 19,243kg-CO ₂ /月 (230,916kgCO ₂ /年)	1%削減 19,051kg-CO ₂ /月 (228,612kgCO ₂ /年)	16.1%削減 15,978kg-CO ₂ /月 (191,735kg-CO ₂ /年)	○

No.	環境経営目標項目	基準値	2023年度目標 (2023年9月～ 2024年8月)	結果 (目標比)	評価
3	受託廃棄物の収集運搬量の拡大	2022年度目標 250 t/月 (3,000t/年)	1%拡大 253 t/月 (3,036t/年)	35.6%拡大 343 t/月 (4,118t/年)	○
4	水使用量の削減	2022年度目標 49.4 m ³ /2ヶ月 (296.4m ³ /6ヶ月)	1%削減 48.9 m ³ /2ヶ月 (293.4m ³ /6ヶ月)	9.3%削減 44.3m ³ /2ヶ月 (266.0m ³ /6ヶ月)	○
5	自社からの廃棄物排出量削減	—	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持	○
6	出張所の環境活動	—	活動実績 (活動の有無)	活動実施	○

※評価の目安： ○…目標達成 ×…目標未達

【評価】

1 電気使用量の削減

電気使用量の削減テーマは2022年実績を基に目標値を新たに決めにスタートしました。単月は8月に目標未達が発生しましたが、累積では通年を通して目標を達成し問題なく活動を終了しました。目標比21.0%削減の1,390 kWh/月（16,675kWh/年）で、想定以上の結果でした。次年度も節電に努め、引き続き推進いたします。

2 軽油使用量の削減（燃費の向上）

軽油使用量削減テーマは目標比1.4%向上の3.63km/Lで、目標を達成しました。今年度は3カ年計画の初年度の活動ですが、活動経過を見ると単月で目標未達が発生（2回）しており、手放しで目標を達成できたわけではありません。次年度目標はさらに厳しくなりますので、方策を停滞することなく行い、目標を逸脱することないようにしっかり管理をしていきます。

* 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は目標比16.1%削減の15,978kg-CO₂/月（191,735kg-CO₂/年）となり目標を達成できました。

当社の二酸化炭素排出量の9割を占める軽油使用量が目標値以下で活動を終えたことにより、目標を達成できました。二酸化炭素排出量は事業活動とトレードオフの関係にあり難しいところですが、引き続き削減活動を推進し、二酸化炭素排出量削減に努めます。

3 受託廃棄物の収集運搬量の拡大（産業廃棄物の適正処理への貢献）

昨年は目標達成を何とかクリアできた年でしたので、今年度の3カ年計画の策定において、慎重に目標値の試算をし決定しました。その結果、目標比35.6%拡大の343 t/月、（4,118t/年）となり目標を達成しました。次年度へ継続します。

4 水使用量の削減

水使用量は目標比9.4%削減の44.3m³/2ヶ月（266.0m³/6ヶ月）となり、目標を達成しました。近隣対策として、粉塵対策を強化し、散水などの回数や量が増加する傾向にありますが、節水の徹底を励行し、目標を達成できたものと考えています。

慢心することなく、今後も節水教育等を徹底し、引き続き水使用量の削減に努めます。

5 自社からの廃棄物排出量削減

裏紙の再利用や両面印刷の機能を積極的に活用し、自社からの紙ごみの排出量抑制に努めています。また、産業廃棄物は分別の徹底により再資源化に取り組み、自社廃棄物を極力抑制しています。引き続き実施し、現状維持に努めます。

6 出張所の環境活動

出張所のあるシェルブルリカンツジャパン(株)横浜事業所内の環境活動は従業員の環境に関する啓蒙活動が中心ですが、①廃棄物の分別徹底、②節電、③節水活動は定着し励行できました。次年度も引き続き活動を実施していきます。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営活動計画の内容	環境経営活動計画（方策）	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	省エネ教育の実施	4	徹底する
	クールビズ・ウォームビズの導入	4	継続して推進する
	処理機器の定期点検・整備	4	再度徹底する
	照明機器の省エネルギー化	5	継続して推進する
	省エネパトロールの実施	3	継続して推進する
	アイドリングストップ、エコドライブ	4	再度徹底する
	エコドライブ教育	4	継続して推進する
	燃費データの把握	4	継続して推進する
	車両整備の徹底	4	継続して推進する
	搬入口、施設内の整理整頓	5	再度徹底する
受託廃棄物の収集運搬量拡大	新規顧客の開拓	5	継続して推進する
	排出元に対する啓蒙活動の推進	5	継続して推進する
	収集運搬ルート効率化	5	継続して推進する
水の使用量削減	節水教育	5	継続して推進する
	適正使用	4	継続して推進する
	節水表示	4	継続して推進する
自社排出の廃棄物の削減	裏紙の再利用を進める	5	継続して推進する
	失敗コピーの削減	5	継続して推進する
出張所の環境活動	廃棄物の分別徹底	5	継続して推進する
	節電	5	継続して推進する
	節水表示	5	継続して推進する

（評価点） 5点：大変良い 4点：良い 3点：要努力 2点：悪い 1点：非常に悪い
 （評価点は総合的に判断した担当者による官能評価である）

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

令和6年9月に環境関係法令の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。
 主な環境法令は以下の通りです。

- ・廃掃法、・貨物自動車運送事業法 ・労働安全衛生法 ・フロン排出抑制法 等です。
- なお、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

昨年は、電気使用量の削減テーマをはじめ軽油使用量の削減、受託廃棄物の収集運搬量の拡大と主となるテーマ達成に苦しんだ年度でしたが、今年度は新3カ年計画のスタート年度で、気持ちを新たに活動に取り組みました。軽油使用量の削減活動において、単月目標が未達のテーマは2件ほどありましたが、累積目標は通年を通してすべてクリアし良好な年であったと考えています。

次年度目標はさらに厳しくなりますが、今年度の活動を継続できれば目標は達成できると考えていますので、油断することなく活動を推進していく所存です。

なお、環境経営目標、環境経営方針、環境経営計画及び実施体制の変更はありません。

★ 産業廃棄物処分業事業の施設一覧

設置場所：神奈川県鶴見区朝日町一丁目17番3 (12.0m²)

施設	施設の種類 (設置年月日)	産業廃棄物の種類	処理能力 又は保管量	保管の形態	
中間 処理 施設	破砕施設 (平成28年7月21日)	廃プラスチック類	3.8t/日(8時間)	/	
		木くず	4.2t/日(8時間)		
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	4.9t/日(8時間)		
	圧縮施設 (平成28年7月21日)	廃プラスチック類	7.2t/日(8時間)		/
		金属くず	29.6t/日(8時間)		
保管 施設	受入廃棄物保管施設	廃プラスチック類(破砕)	保管面積2.0m ² 最大保管量1.0m ³ ×2	フレコン2台	
		廃プラスチック類(圧縮)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³ ×2	フレコン2台 ×2段積	
		金属くず(圧縮)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³ ×2	フレコン2台 ×2段積	
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず (破砕)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³	フレコン1台	
		木くず(破砕)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³	フレコン1台	
	処理後の廃棄物保管施設	廃プラスチック類(破砕)	保管面積2.0m ² 最大保管量1.0m ³ ×2	フレコン2台	
		廃プラスチック類(圧縮)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³ ×2	フレコン2台 ×2段積	
		金属くず(圧縮)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³ ×2	フレコン2台 ×2段積	
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず (破砕)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³	フレコン1台	
		木くず(破砕)	保管面積1.0m ² 最大保管量1.0m ³	フレコン1台	